

2019年度（平成31年度）OWS国際大会選手選考方法

◆第18回世界選手権大会（韓国・光州 日程未定）

1. 選考手順は下記の通りとし、選考競技会が荒天時の場合は大会要項に記載の「荒天時の対応」に従う。

①OWS 日本選手権 10km（千葉・館山、2018年9月23日）

上記大会において、第18回世界選手権代表候補選手を確定する。

*代表候補選手は、男女上位各10名とする。

②第18回世界選手権最終代表選考競技会（場所未定・2019年5月もしくは6月実施予定）

上記大会において、第18回世界選手権代表選手を確定する。

*世界選手権代表候補選手のうち男女上位各2名を代表選手とする。

*男女上位各2名は優勝者から1分以上離れていても選考される。

2. 選考は、第18回世界選手権大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり、編成方針（日本水泳連盟が決定する）に沿って総合的な判断により選考する。

3. 編成人員は男子2名、女子2名とする。（選考日は未定）。

4. 代表選手団は10kmに出場し、5km・25kmは希望に応じて出場することができる。

◆第30回ユニバーシアードナポリ大会（イタリア・ナポリ 日程未定）

1. 選考競技会を下記大会とする。

・第18回世界選手権最終代表選考競技会 10km（場所未定・2019年5月もしくは6月実施予定）

（選考競技会が荒天時の場合は大会要項に記載の「荒天時の対応」に従う）

2. 選考は、第30回ユニバーシアード大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選考委員会あたり、人数枠の範囲で選考する。

3. 参加有資格者は、大学在学中（学生委員会登録者）および卒業2年以内、年齢は18～24歳とし、最高2回までとする。

4. 編成人数は、最大4名（男子2名、女子2名）とする（選考日は未定）。

5. 第18回世界選手権大会と重複選考は不可とする。

6. 編成方針（数を含む）は日本オリンピック委員会が決定する。

◆2019年東京五輪テストイベント（場所・日程未定）

1. 選考競技会を下記大会とする。

・第18回世界選手権（韓国・光州、日程未定）10km

2. 選考は、東京五輪テストイベント大会規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり、編成方針（日本水泳連盟が決定する）に沿って総合的な判断により選考する。

3. 編成人員は東京五輪テストイベント大会規則に従い、第18回世界選手権（10km）の上位者から選考する。（選考日は未定）。

◆2019年 FINA マラソンスイミングワールドシリーズ（場所・日程未定）

1. 選考競技会を下記大会とし、選考競技会が荒天時の場合は大会要項に記載の「荒天時の対応」に従う。
 - ・ OWS 日本選手権 10km（千葉・館山、2018年9月23日）
 - *代表選手は、4名以上8名以内とする。
 - *代表選手は、上記大会において男女上位各2名、及び優勝者から1分以内にゴールした選手とする。
 - *男女上位各2名は優勝者から1分以上離れていても選考される。
 - *上記基準を満たす選手が8名以上となった場合、優勝者とのタイム差が短い選手を優先的に選考する。
2. 選考は、日本水泳連盟選手選考委員会があたり、ワールドシリーズ編成方針・主旨に沿って選考する。
3. 編成方針（日本水泳連盟が決定する）に沿って、総合的な判断により選考する。
4. 派遣大会はワールドシリーズの日程が決定した時点で OWS 委員会にて協議する。
 - *男女上位各10名（第18回世界選手権代表候補選手）は派遣大会以外のワールドシリーズにおいて自費参加可能とする。

◆2020年 OWS 全豪選手権（場所・日程未定）〈U-20〉

1. 選考競技会を下記大会とし、選考競技会が荒天時の場合は大会要項に記載の「荒天時の対応」に従う。
 - ・ OWS 日本選手権 10km（千葉・館山、2018年9月23日）
2. 選考は、日本水泳連盟選手選考委員会があたり、人数枠の範囲で選考する。
3. 参加有資格者は、2019年4月1日時点で20歳以下の者とする。
4. 編成方針（日本水泳連盟が決定する）に沿って、総合的な判断により選考する。
5. 編成人員は男子2名、女子2名とする。（選考日は未定。）

以 上